

## 第8回世界盆栽大会ボランティア参加

開催日時：2017年4月28日～30日

開催場所：さいたま市内各所



ポスター



さいたま新都心駅前



「えのき」清水勇人さいたま市長



けやき広場 入場待ち行列は駅改札口近くまで続いていた



盆栽美術館前で来場者に案内中のボランティア

世界盆栽大会ボランティア参加者名簿(活動分野：一般)

日	4/27(木)			4/28(金)			4/29(土)			4/30(日)		
	8:30	13:00	18:00	8:30	13:00	18:00	8:30	13:00	18:00	8:30	13:00	18:00
田口 浩				スーパーアリーナ			盆栽村					
上原志那子				入退場ゲート案内			スーパーアリーナ			場外誘導・案内		
久津清二							盆栽村			誘導・案内		
平林知人	ソニックシティ		誘導・案内				スーパーアリーナ			誘導・案内		
今西太一	誘導・案内		盆栽村				盆栽村			シャトルバス案内		

ボランティア参加者からのコメント

今西 太一

業務はお客様の誘導・案内ということであり、私の受け持ち場所は盆栽村のボランティアは27日が5名ぐらい、29日は6名ぐらいでしたが、27日が蔓青園の前付近、29日が九霞園の前付近でした。受け持ち場所が離れていて、情報交換はあまり計れませんでした。

驚いたのは以下の3点。

1. ボランティアは比較的若い人が多く（40～50歳台）、シニアは私を含めて3人ぐらい。
2. ボランティアの半分以上が女性だったこと。
3. 「 外国語 OK の人だったこと。特に29日は私以外全員外国語 OK の人だった。私も英語はある程度できるので、外人には英語で対応した。

仕事は、待っていても聞いてくる人は少ないので、こちらから声掛けをして道案内をした。それでもはっきり言って仕事はヒマだったので、蔓青園、清香園、芙蓉園、美術館は一通り廻って盆栽園の人とも大分話ができ、盆栽の知識が増えた。四季の家であったサックス4重奏の生演奏も聴けて、これは大変良かった。以上ですが、今回のボランティアはその必要性についてはやや疑問な点もありましたが（人が余っていた）、これは集まってしまった以上使ってあげないといけないという、事務局の事情もあったかもしれない。それから、今回のボランティアは盆栽について知っている、或いは興味を持っている人達が多かった気がしました。しかし、盆栽についてあまり知らなかった私でも、上述のように個人的にはいい経験をさせてもらったので、伊奈さいたま会のような組織がこのようなボランティアに参画したのは、意義あることだったのではないかと思います。

田口 浩

第8回世界盆栽大会 in さいたまが4月27日（木）から4月30日（日）までの4日間開催されました。私がボランティア活動に参加したのは、4月28日（金）と29日（土）の2日間で、両日とも8:30から13:30までの活動でした。

28日は、メイン会場のスーパーアリーナにて、大会登録者への案内、誘導を担当しました。こちらは対象者が少ないので余裕でした。

そのうち一般入場者とチケット購入者が列をなしてしまい、主催者側も予想外とのことで事前の準備ができておらず、その対応をしきれませんでした。

私もその状況を見て、臨機応変にチケット売り場の行列の最後尾に配置につくことにしました。行列の整理を行っている時、来場者から「案内がなっていない」などと苦情対応係となってしまいました。

29日は、盆栽美術館付近で、盆栽村への案内をしました。こちらはほとんど道案内で、スタッフのチョッキを着ているので、いろいろな人から声を掛けられまたこちらからも声掛けを行い感謝されるばかりでした。しかし、外国人が非常に多くこれらの方に対応できなかったことが残念でした。

でも、多くの人と触れ合うことができ大変充実感を味わいました。

ボランティアを終了する時には、名残惜しいなと思いました。そして、ずっと立って活動していたので、脚に快い疲れが残りました。

久津清二

二日間終日フルに参加しました。運動不足だったので足腰のよい訓練になりました。初日は盆栽村の入り口ということで土呂の駅前での案内でした。

大宮ボランティアガイド会の人たちもでていたので協力して案内をしました。駅から降りてくる人はほぼ全員が美術館を目指すので、いちいち聞かず道順を教えました。

午前中から昼にかけては日差しが強かったのですが、3時ころから雨が降ってきました。

そのため夕方方はほとんど人は来なくなりました。帰る人たちが立っている私にご苦労さまと声をかけてくれることも多く、よい気分になりました。

休憩時間に盆栽村を見学しましたが、きれいに整備されていていいところですね。また改めて来てみたいと思いました。

二日目はスーパーアリーナでの入り口です。前日が大混雑で結構混乱したと聞いていたので皆少し緊張気味です。

私は入場者のカウントを担当しました。簡単なようですが、一斉に入場するのでカウントが追い付かないのと、休むわけにはいかないのでずっと立ち通しでした。この日は16000人をカウントしました。

今日は最終日ということで混雑はしましたが、当日券の人が多く混乱はほとんどありませんでした。

ただ色々な人がくるので面白かったですね。受付を締め切った後ボランティアの仲間と会場を見て回りました。

盆栽に詳しい女性がいたので色々説明してもらい奥の深さに感心しました。大学生と写真をとったり、皆で地元の話をしたりとなかなか楽しかったです。

ボランティアは行く前は若干面倒くさくなるのですが、行くとそれなりに面白い経験になるので、参加してよかったと思います。

次回も何かあれば参加したいと思います。

## 上原志那子

まずこんなにも沢山の方々が盆栽を見学観賞にくるのだ！と驚き感心しました。スーパーアリーナ以外での活動については、それほどの忙しさはなかったようですが、アリーナの人出は想像を絶するものでした。

とくに午前中は押すな押すなの盛況ぶりだったので、ボランティアの私たちは5時間、1分の休憩もなく動いておりました。

とともしんどかったですね。プラカードを持った方は悲鳴を上げていました。また「車椅子」や「足の悪い障害のある方」などがかなりいたのですが、全く配慮はなく一般の人と同じに並び入場していましたので、色々指図している方に一言「なんとか配慮はしていただけないのか」と、でも今では「正常の方と同じにするのが一般的」とのお返事少し驚きました。かなり歩行が困難な方は申し出ていただき考慮して頂きました。

スーパーアリーナでの盆栽の展示品は素晴らしかったです。いままで観たこともないような盆栽の数々がありました。専門的なことは判りませんが、やはり美を感じます。

さいたま市内の小学校でも盆栽の教室が取り入れられて、こどもたちが熱心に取り組んでいる様子の写真や盆栽の作品が展示されておりました。

こどもたちの中から素晴らしい盆栽師がでるかもしれませんね。

もう一言、語学堪能な方が沢山いたと思いますが、担当した場所によっては殆どその力を発揮することができなかつたようです。

語学ボランティアの方に比べて、外国の方が少なかったのかもしれませんが……。特にドイツ語、中国語の方は殆どお話をする機会がなかつたとお聞きしています。

## 平林知人

社会貢献として最も一般的な一つであるボランティア活動への参加は、埼玉県では今回、FIFA 2002日韓ワールドカップ、FIBA バスケット大会、に次ぐものです。これらには国際交流の良い思い出が沢山ありましたので、今回もわくわくして臨みました。2回にわたりましたが1回目は盆栽村案内の担当でした。地球の裏側の国チリから、フランスのボルドーから、アジアの国々から若者達が目を輝かせてやって来る、日本人としてとても誇りに思いました。ボルドーの気風のいい若い男は、なんてったってジャパンがナンバーワンと片目を瞑った。けどワインはボルドーだよ、と宣伝を忘れない。2日目はあの賑やかなスーパーアリーナの担当でした。年も考慮して頂いたのか、元ジョンレノンミュージアム後の“TOIRO”での日本文化の紹介コーナー、そして華やかなデモストレーションのコーナーの案内をする役割でした。外国人に向けた企画でしたが素晴らしいもので私たちも受けたい内容でした。そこに江戸時代風の屋台でもさり気なく並べて、二八そばでも啜らせたなら粋だなと思いました。世界中の老若男女が一堂に盆栽を通じて笑顔で交流している姿を見て、暗いニュースばかりが横行している中で一服の清涼剤でした。総務部長の高場さんの発案に感謝です。またこのような機会を掴まえてみんなでやりましょう。